販売用資料 2026.10

ひふみ NW

ひふみクロスオーバー pro

追加型投信／内外／株式

● お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

岡三証券

商号：岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

● 設定・運用は

RHEOS CAPITAL WORKS

商号：レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

商品サイト

商品概要などファンド情報をご確認いただけます。

※これより先はレオス・キャピタルワークスのWebサイトになります

ひふみLINE 公式アカウント

月次レポートなど、ひふみの最新情報を配信しています。

※これより先はLINEのサイトになります

※2026年12月1日付で、レオス・キャピタルワークス株式会社は、SBIレオス・キャピタルワークス株式会社へ社名を変更します。これに伴い、会社ロゴも変更します。

SBI レオス・キャピタルワークス

ひふみクロスオーバーproをお申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

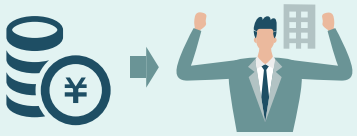
革新的なアイディアで新規事業に取り組むスタートアップ企業への注目が加速

日本経済の再興の牽引役としてスタートアップ企業が今注目されています。政府は、2022年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を発表し、スタートアップ企業への投資額を5年で10倍にすることや、ユニコーン企業*を100社創出することを目指しています。達成に向けた必要な取り組みとして、スタートアップ企業への資金供給の強化に注目が集まっています。

＊企業価値が10億ドル以上の未上場企業

スタートアップ企業の資金調達金額はコロナ禍を経て減少しましたが、足元回復し安定傾向にあります。2025年に資金調達した企業は減少傾向にあるものの、資金調達額は安定して推移しています。今後はより選別してスタートアップ企業へ投資する流れになることが想定されます。

■スタートアップ育成5か年計画の主な概要



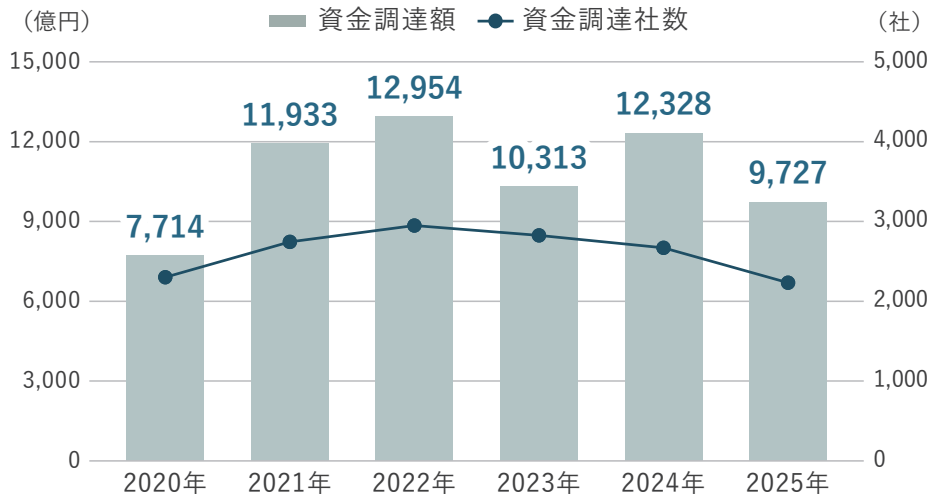
スタートアップへの投資額を5年で10倍に

スタートアップを10万社、ユニコーン企業を100社創出

日本をアジア最大のスタートアップの中核に

出所：経済産業省ウェブサイトの情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成
※上図は施策の一部であり、すべてを網羅したものではありません。

■スタートアップ企業の資金調達額と資金調達社数の推移

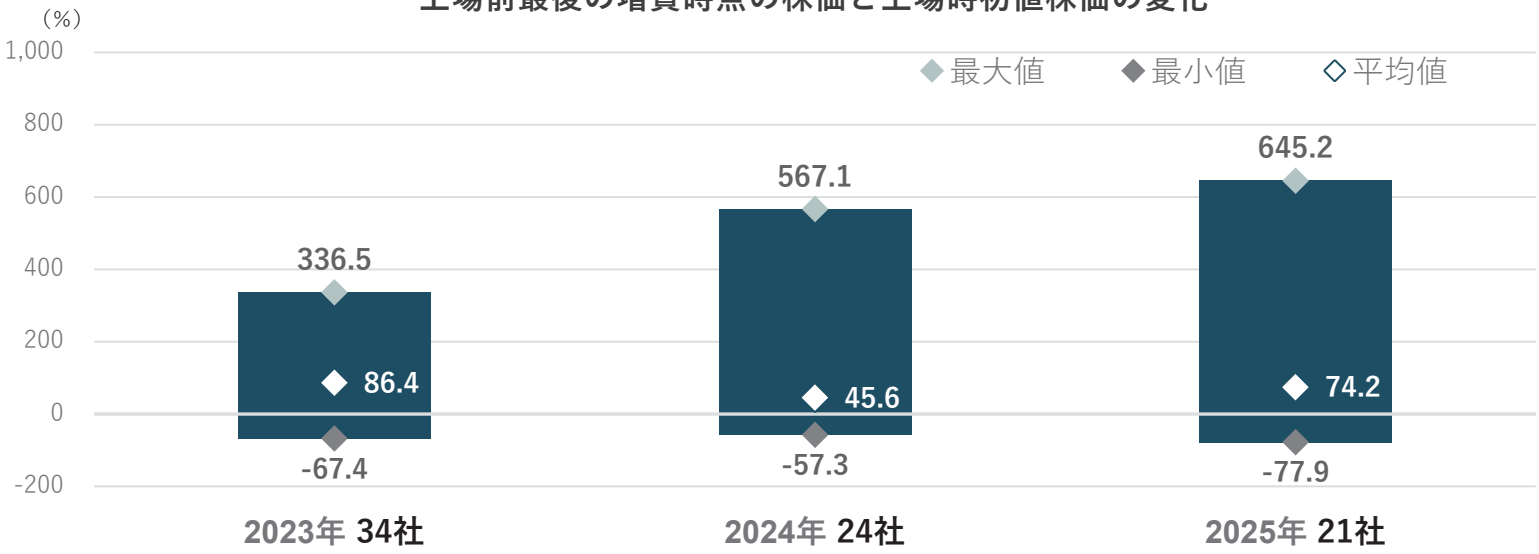


出所：START UP DB「2025年国内スタートアップ投資動向レポート」掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成
※2026年1月7日時点※投資実行日不詳の場合は、発表日時に基づく※一部、融資や社債での調達、関連会社からの調達を含む※今後、各社の登記簿情報の更新にあわせ、合計資金調達金額・社数が変動する可能性がある。

大きな成長の可能性を秘めている未上場株式

スタートアップ企業が新規上場（IPO）をした場合、上場時に株価は大きく上昇する傾向にあります。一方で、上場前の増資時点での評価額より低い評価額で新規上場（IPO）を迎える企業もあることから、銘柄の選定がカギとなると考えられます。

■ 年次別新規上場（IPO）時の騰落率（2023年～2025年）
上場前最後の増資時点の株価と上場時初値株価の変化



上場時初値株価が平均86.4%上昇しました。最も上昇したのはGENDAで336.5%の上昇、最も下落したのはキャスターで67.4%の下落でした。

上場時初値株価が平均45.6%上昇しました。最も上昇したのはタイミーで567.1%の上昇、最も下落したのはMFSで57.3%の下落でした。

上場時初値株価が平均74.2%上昇しました。最も上昇したのはオリオンビールで645.2%の上昇、最も下落したのはミラティブで77.9%の下落でした。

※騰落率は、各社の新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）で開示が確認できた上場前最後の増資時点（設立出資や短期間で消却されたもの、100%親会社による増資や新株予約権行使に伴うものを除く）の株価と上場時初値株価から算出。株式分割/株式併合、優先株式に対する普通株式の交付数を考慮しています。
※各年にTOKYO PRO Marketを除く東京証券取引所のいずれかの市場に上場し、新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の第二部【企業情報】のうち第４【提出会社の状況】および第四部【株式公開情報】で上場前に増資を行なったことが確認できた企業のうち、上場前最後の増資時点（設立出資や短期間で消却されたもの、100%親会社による増資や新株予約権行使に伴うものを除く）の時価総額が概ね50億円以上の企業を対象として集計。なお、上場前最後の増資時点の時価総額は同時点の株価に上場時の株数を乗じて簡易的に見積もったものであり、正確な株数を反映していません。
※個別銘柄を推奨するものではありません。当ファンドへの組入などを必ずしも約束するものではありません。
出所：Bloombergおよび各社の新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

日本の未来に貢献する企業を皆様と共に応援

ひふみクロスオーバーproには大きな社会的意義があります。
実力のある素晴らしい日本の企業に上場前から投資することで、
受益者の皆様と一緒によりよい未来をつくることに貢献できるからです。
上場株運用で培ってきたノウハウに加え、未上場企業の調査・投資を通じて蓄積してきた
知見とネットワークを結集し、未上場・上場の境界を越えて投資の魅力と輝かしいリターンを
皆様へお届けできるよう、全力を尽くします。

ひふみクロスオーバー pro 運用責任者　**松本凌佳**

ひふみクロスオーバーproとは？

クロスオーバー

特定の分野の境界を越えて、異なる分野と組みあわせて新しい物事を創り出すことをクロスオーバーと言います。
当ファンドでは①未上場の段階から投資を行ない上場後も投資し続ける②ファンド全体を通じて未上場企業と上場企業に投資することでクロスオーバー投資を実現します。

pro

既存の「ひふみ」シリーズをbasicと位置づけ、徹底的な調査・分析で柔軟に投資対象の選別を行なうアクティブファンドとしての特長を共有しつつ、さらに投資の魅力やワクワクを体感したい方向けのファンドシリーズを「pro」と名付けました。当ファンドでは、未上場企業と上場企業に投資をすることで、お客様にワクワクをお届けします。

	ファンド	こんな方におすすめ
basic	既存の ひふみシリーズ	投資が初めての方 から投資経験者まで 幅広い方に
pro	**ひふみクロス オーバーpro**	**投資に更なる ワクワクを 求める方に**

ひふみクロスオーバーpro
3つの特長

特長1 主に成長が期待できる未上場企業と上場企業に投資します

- 未上場・上場の境界を越えたクロスオーバー投資を行ないます。
- 実質的に未上場株式等を組み入れる「ひふみクロスオーバーマザーファンド」と、主に日本の成長企業に投資を行なう「ひふみ投信マザーファンド」に投資するファミリーファンド形式で運用を行ないます。未上場株式への投資は当社の兄弟会社であるレオス・キャピタルパートナーズが運用する「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」を通じて行ないます。

特長2 足で稼いだ情報で成長企業を発掘します

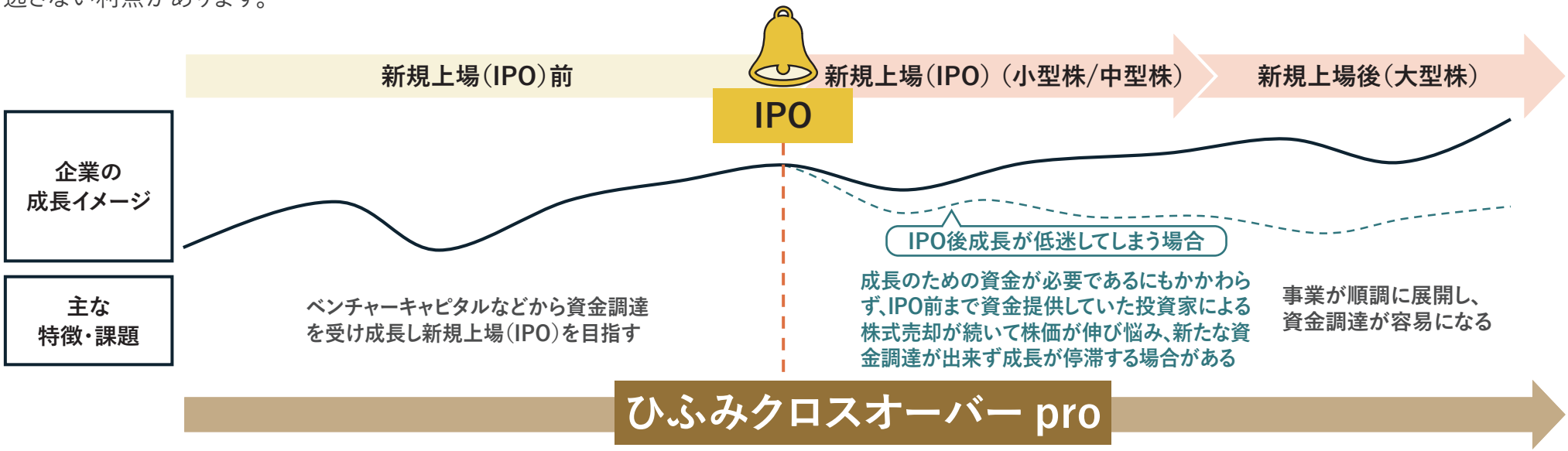
「定性」「定量」の両面から徹底的な調査・分析を行ない、どのような投資環境でも独自要因で成長を遂げる企業を発掘します。

特長3 顔が見える運用

ファンドマネージャーやアナリストの「顔が見える運用」を取り入れ信頼の向上を目指しています。

特長1　主に成長が期待できる未上場企業と上場企業に投資します

ひふみクロスオーバーproは新規上場（IPO）を目指し成長が期待される未上場企業と、さらなる成長が見込まれる上場企業に投資します。IPOの前から投資を行ない上場後も持ち続けることでさらに大きなリターンを得ることを目指します。企業側にとっては継続的な資金提供を受けることで成長機会を逃さない利点があります。



■未上場株式と上場株式の主な違い

未上場株式	項目	上場株式
企業との相対取引	売買方法	取引所取引
限定された投資家層からの資金調達	資金調達方法	市場など多数
ベンチャーキャピタル*1、エンジェル投資家*2	投資家層	個人投資家・機関投資家など多岐にわたる

※上図は未上場株式、上場株式の説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。
*1　未上場の新興企業（ベンチャー企業）に出資して株式を取得し、将来的にその企業が株式を上場した際に株式を売却し、大きな値上がり益の獲得を目指す投資会社や投資ファンド
*2　起業して間もない企業に資金を出資する投資家

ひふみクロスオーバーproの仕組み

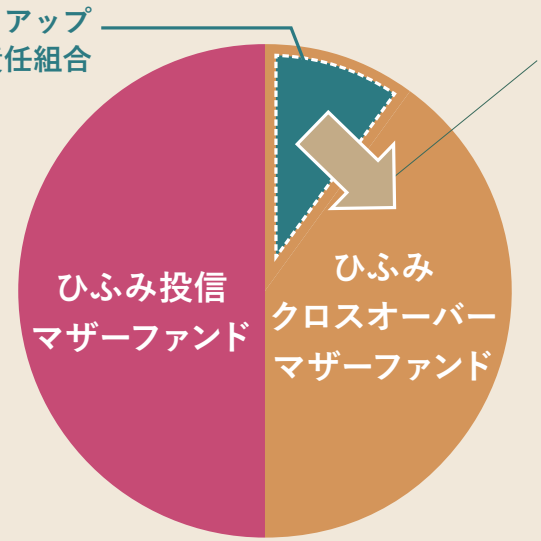
当ファンドは2つのマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行ないます。
未上場株式への投資はひふみスタートアップ投資事業有限責任組合*を通じて投資することにより、売買が難しく換金に時間がかかる未上場株式であっても、ファンドとして毎営業日購入・換金が可能になります(ファンド休業日を除く)。

*投資事業有限責任組合:未上場企業が発行する有価証券等への投資を目的としてベンチャーキャピタル等が利用する枠組みです。

ひふみクロスオーバーproの組入資産のイメージ図

■ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合

レオス・キャピタルパートナーズが運用する「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」を通じて未上場株式への投資を行ないます。



未上場株式が
新規上場(IPO)した場合
「ひふみクロスオーバー
マザーファンド」に組み入れ

■ ひふみ投信マザーファンド

国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。

■ ひふみクロスオーバーマザーファンド

国内外の長期的な経済循環を勘案して、成長性が高いと判断される企業の株式を中心に投資をします。

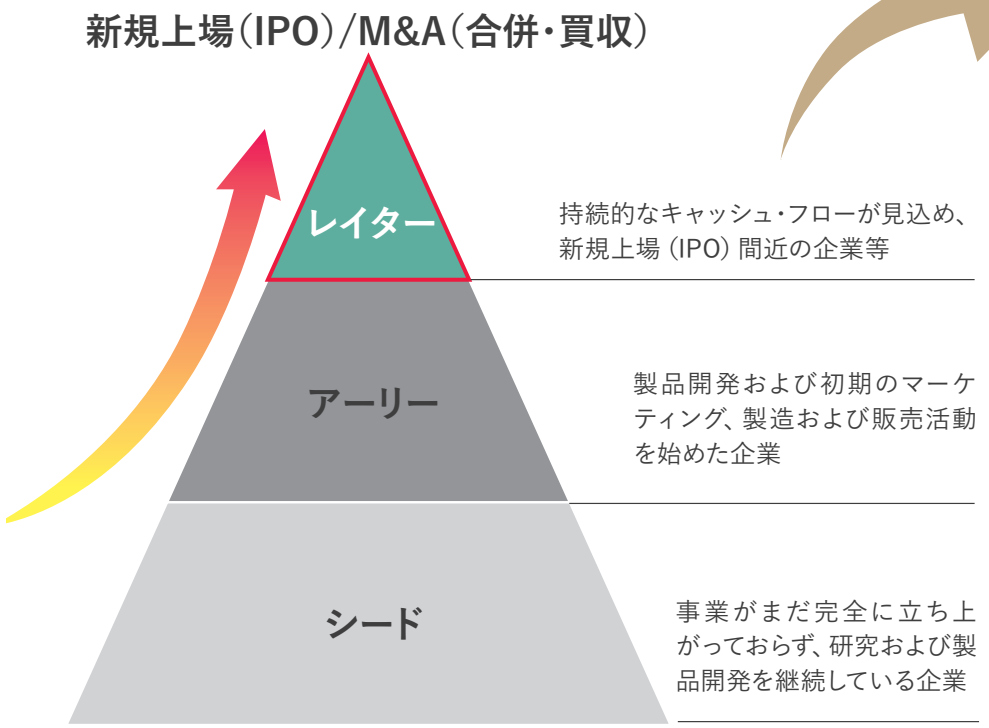
- 主に未上場株式とIPO後5年以内の株式を含む成長が期待できる上場株式に投資します。
- 「ひふみクロスオーバーマザーファンド」から「ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合」に投資を行ない、投資事業有限責任組合への投資を通じて未上場株式への投資を行ないます。
- 投資事業有限責任組合に組み入れられた未上場株式が上場した場合は、「ひふみクロスオーバーマザーファンド」に時価で組み入れます。

※投資対象ファンドおよび投資事業有限責任組合の組入比率は、市場動向や運用の状況によって変動する場合があります。
※投資する未上場企業が上場した場合、ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合で投資を継続する場合もあります。
※ファンド全体における未上場株式の組入比率は、一般社団法人資産運用業協会の「投資信託等の運用に関する規則」により最大15%と定められています。
※運用状況や当ファンドの設定解約の状況により、実質的に組み入れる未上場株式の比率が純資産総額の15%を超える場合や同一銘柄の組入比率が10%を超える場合は、「ひふみクロスオーバーマザーファンド」が保有する投資事業有限責任組合の持ち分をＳＢＩグループの投資会社または委託会社の関係会社に公正価値で売却することで、実質的な未上場株式への投資割合を低下させます。
※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ひふみクロスオーバーproの投資対象となる未上場企業

未上場企業には大きく分けてシード、アーリー、レイターと3つの成長ステージがあります。当ファンドは主にレイターステージ企業の中でも上場の可能性が高く、上場後も更に成長が見込める企業に投資します。

■未上場企業の成長ステージ



※上記は未上場企業の成長ステージの説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。
※未上場株式等への投資に関するリスクについて詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資対象となる未上場企業

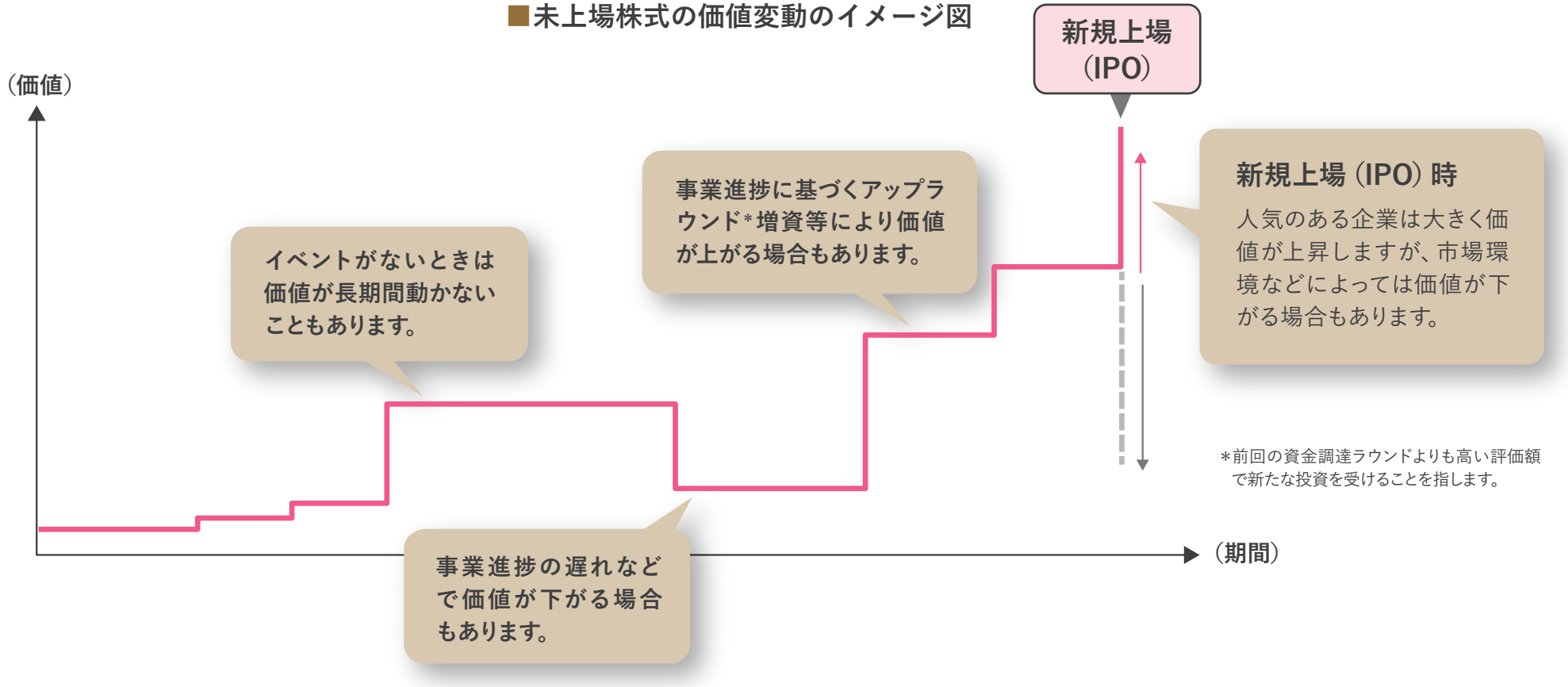
マーケット（商品、サービスの市場）	顕在化／拡大フェーズ
利益キャッシュフロー	黒字・黒字が近い／安定
監査法人または証券会社の選定	選定済み
上場までの期間	1年～3年程度での上場を目指す

※投資対象は市場動向や運用の状況によって変動する場合があります。

未上場株式の価値推移の特徴

未上場株式は上場株式のように市場で毎日取引されていないことから価値が大きく動くものではありません。一方、イベント（増資、事業提携、業績の大きな変動、市場環境の変化など）が発生するとその価値が大きく変動することがあります。
また、未上場株式は市場で取引されていないため、流動性が乏しく売買に日数を要するなど、上場企業の株式とは値動きの方向性や変動率が大きく異なる場合があります。これらの影響を受け損失を被るリスクがあります。

■未上場株式の価値変動のイメージ図



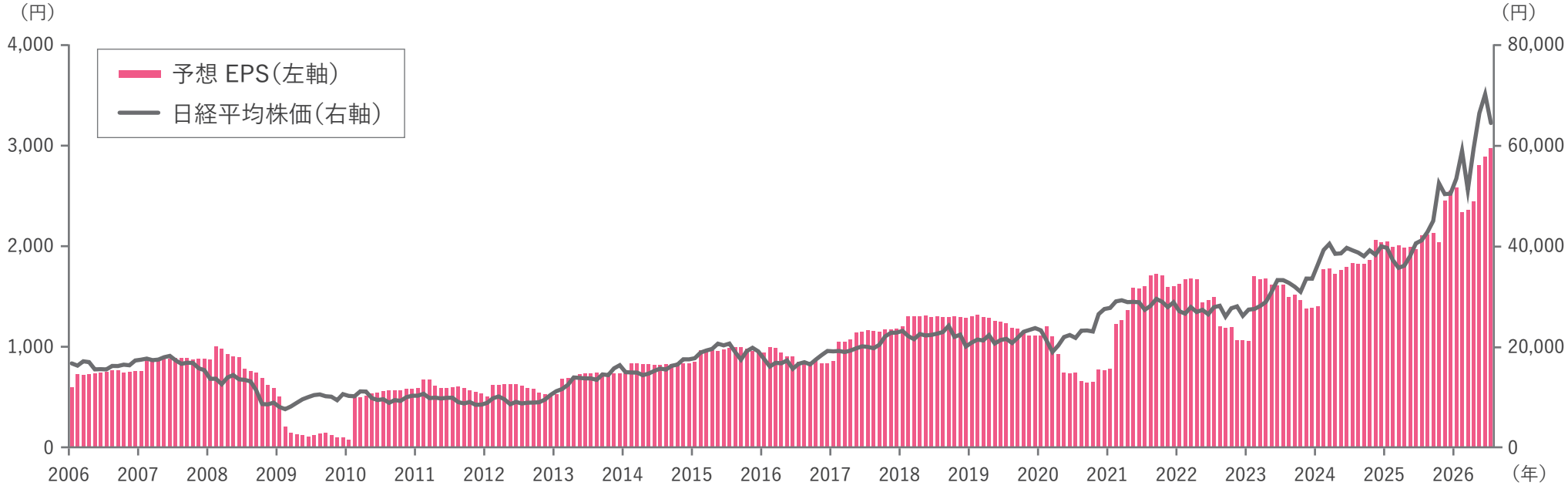
*前回の資金調達ラウンドよりも高い評価額で新たな投資を受けることを指します。

※上記は未上場株式の価格変動の説明の一部であり、必ずしもすべてを網羅し一致するものではありません。
※未上場株式等への投資に関するリスクについて詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

EPSに着目して成長企業を発掘しています

株価は1株あたりの利益（EPS）と株価収益率（PER）の積で求めることができます。当社では、1株あたりの利益（EPS）を企業の経営者や従業員の「情熱」「工夫」「頑張り」と捉えており、短期的な市況や人気など（PER）に左右されず、本質的な力を持っているか、長期的に成長する企業なのかを見極める際の重要な指標と考えています。1株あたりの利益（EPS）が高い企業は利益を上げる会社であり企業の成長性と株価は相関する、といえるのです。

■日経平均株価の予想EPSと株価の推移（2006年1月～2026年7月）

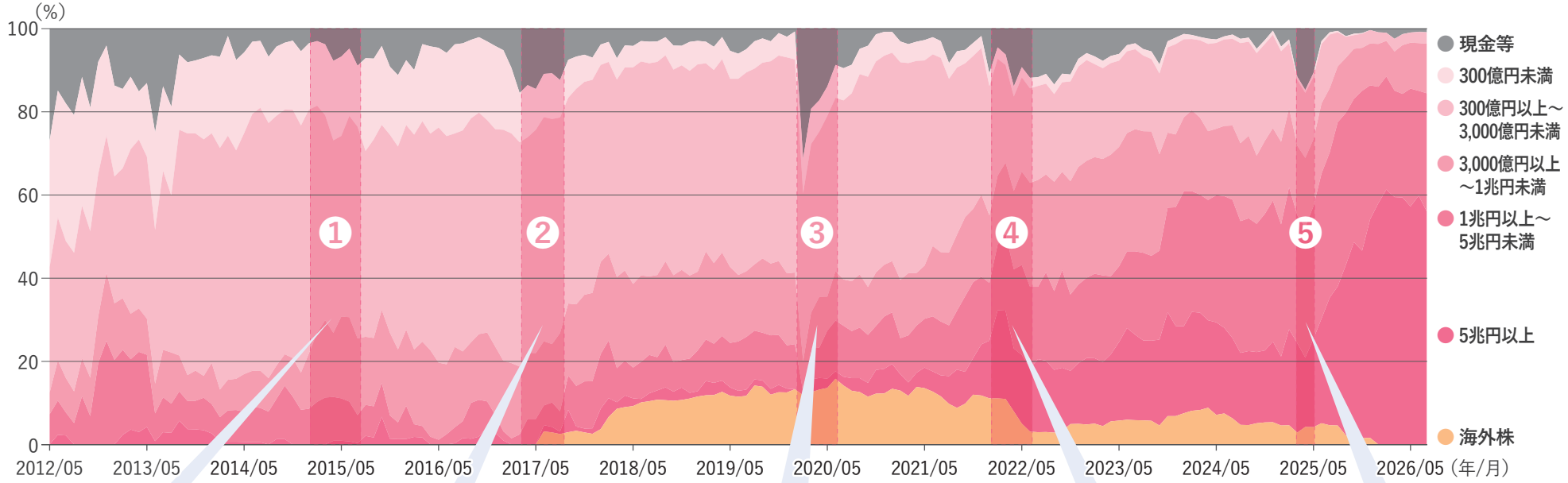


出所：Bloomberg掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。
※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

投資対象ファンド　ひふみ投信マザーファンド　株式市場の変化に柔軟に対応

世界情勢や経済の変化に対応し、保有する株式の比率を柔軟に変化させることは、ひふみ投信マザーファンドの大きな特徴でもあります。業種や企業規模にとらわれることなく、臨機応変に組入銘柄を入れ替えて「守りながらふやす」運用を目指しています。

＜ひふみ投信マザーファンドの時価総額別構成比率の推移＞



❶ 大型株主導の株式相場
日本銀行や公的年金等の資金流入期待を背景に、日経平均株価上昇。
大型・中小型・超小型株のバランスを意識したポートフォリオに。

❷ 地政学的リスクの顕在化
北朝鮮問題などで顕在化し始めた地政学的リスクに備えて現金等の比率を上昇。

❸ 新型コロナウイルス感染拡大
新型コロナウイルス感染拡大による不確実性リスクに備え、現金等の比率を上昇。

❹ 物価上昇による米金融政策転換の影響
インフレによる相場状況の変化に対応するため、大型株の比率を上昇。

❺ 米国関税政策に警戒
マクロ環境の不確実性の高まりを警戒し、現金等の比率を上昇。

期間：2012年5月末～2026年7月末
ひふみ投信マザーファンドの月末時点の純資産総額を100%として計算。「海外株」には海外投資証券が含まれます。

特長2　足で稼いだ情報で成長企業を発掘します

未上場企業、上場企業ともに投資する銘柄をみつけるために、定量（企業業績の変化、株価水準、割安性など）と定性（経営の質、競争力、現場の活気など）の両面から、徹底的な調査・分析を行なっています。
電話取材やWebミーティングに加えて、現場で直接企業を取材することで、取材先の熱意や実際の雰囲気を体感したうえで、深みのあるディスカッションを行なっています。

ヒトの可能性に着目する定性調査

未上場企業の着目ポイント

上場企業と比べ会社の規模が小さいことから、ニーズや変化に素早く対応でき、事業推進力のある経営者がリードし、上場後も成長が期待できるか、という観点などに注目しています。

上場企業の着目ポイント

企業調査では経営者や現場のスタッフとの対話を大切にしています。また、ニュースや新聞の情報だけでなく、日々の気付きを大切にしています。

成長企業を
発掘

企業業績の変化に着目する定量調査

未上場企業の着目ポイント

主にレイターステージ企業に対して事業状況、業績に関するヒアリングを重視しています。また、経営陣にも将来のビジョンなどについてご説明していただいています。

上場企業の着目ポイント

企業業績の変化、株価水準、割安性などに着目しています。なかでも1株あたりの利益（EPS）が高い企業は利益を上げる会社であり、企業の成長性と株価は相関すると考えています。

投資プロセス

■投資プロセス

【上場株式部分】
レオス・キャピタルワークス

【未上場株式部分】
レオス・キャピタルパートナーズ

銘柄発掘

企業との面談を重ね定量と定性の両面から徹底的な調査・分析

銘柄発掘にあたり未上場企業への豊富な投資実績を有するSBIインベストメント株式会社からのサポートを得る

調査

電話取材やWebミーティングに加えて、現場で直接企業を取材し、取材先の熱意や実際の雰囲気を体感

事業計画など直接取材。上場株のアナリストも参加し未上場株式が上場後も継続的に成長が期待できるかを評価

選定

ポートフォリオ全体のバランスや個別企業の流動性などを考慮し選定

ポートフォリオ

■未上場株式部分を運用する「レオス・キャピタルパートナーズ」

レオス・キャピタルパートナーズは、ベンチャー企業への出資を行なう投資事業有限責任組合の運営・管理を行なっているレオス・キャピタルワークスの兄弟会社です。

社名	レオス・キャピタルパートナーズ株式会社 ※2026年12月1日付でSBIレオスパートナーズ株式会社へ社名を変更します。
設立	2021年4月16日
資本金	1億円（2026年7月末現在）

持株会社

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

投資信託委託業務・投資顧問業務

レオス・キャピタルワークス株式会社

ベンチャーキャピタル業務

レオス・キャピタルパートナーズ株式会社

特長3　顔が見える運用

長期的なお付き合いにおいて、できる限りお客様に安心感を持っていただきたいと考えています。ひふみアカデミー（月次運用報告会）、月次運用レポート（月次運用報告書）など、さまざまな情報発信で、大切なお金をお預かりしている運用メンバーの顔が見える機会を多くご用意しています。

運用メンバー

ゆあさ　みつひろ
湯浅 光裕

せのお　まさなお
妹尾 昌直

ないとう　まこと
内藤 誠

おおはら　けんじ
大原 健司

みずせ　きみのぶ
水瀬 公脩

いとう　つばさ
伊藤 翼

たかはし　りょう
高橋 亮

シュウ　カン
周　歓

くぼ　ともひこ
久保 智彦

ホン　ミンホ
洪 民鎬

なみき　こうじ
並木 浩二

わたなべ　しょうた
渡邉 庄太

おおしろ　しんたろう
大城 真太郎

まつもと　りょうが
松本 凌佳

すぎの　りょうすけ
杉野 僚祐

ながしま　ゆうたろう
永島 優太朗

ふくむろ　みつお
福室 光生

みやけ　かずひろ
三宅 一弘

はしもと　ゆういち
橋本 裕一

※2026年9月1日時点

レオス・キャピタルパートナーズ

とだ　とうそう
戸田 東宗

●ひふみ公式 YouTube チャンネル動画のご視聴はこちら▶

ひふみアカデミー（月次運用報告会）の配信や
市況、経済をわかりやすく解説するチャンネルです。

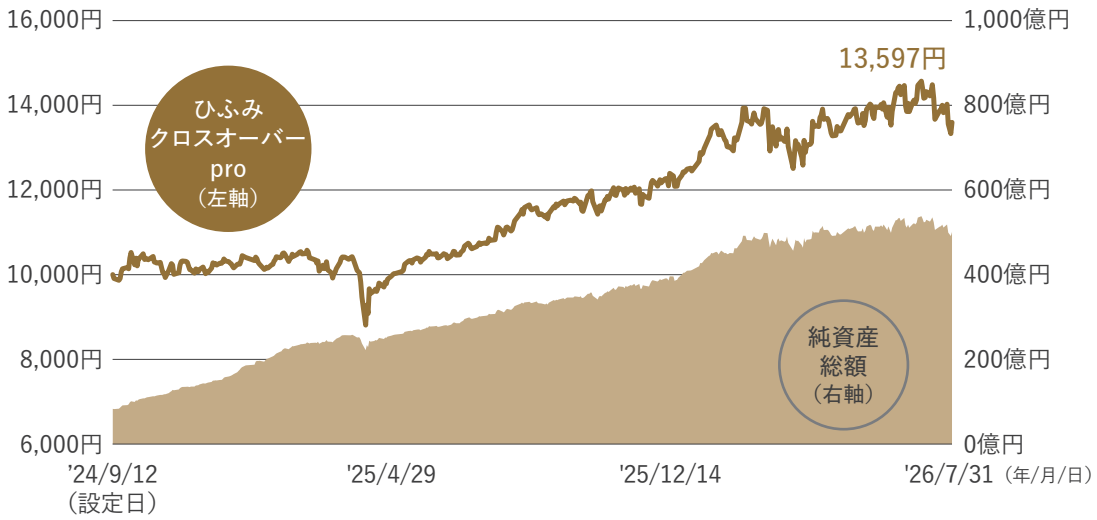
※これより先はYouTubeのサイトになります

運用メンバーのインタビューはこちら▶

レオス・キャピタルワークスの Web サイトに遷移します

ひふみクロスオーバーproの運用状況

■ 基準価額等の推移（日次）

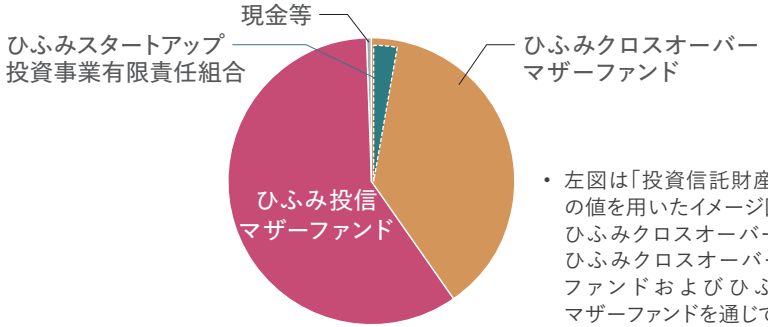


■ 運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみクロスオーバーpro	-3.72%	1.51%	4.42%	22.34%	-	35.97%

期間：2024年9月12日～2026年7月末
※運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。
※「現金等」は純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。
※「投資信託財産の構成」の比率は純資産総額に対する比率です。
※「資産配分比率」「市場別比率」の各比率は、純資産総額に対する実質割合を表示しています。
※過去の実績は将来の運用成果を示唆または保証するものではございません。

【組入資産のイメージ図】



- 左図は「投資信託財産の構成」の値を用いたイメージ図です。ひふみクロスオーバーproは、ひふみクロスオーバーマザーファンドおよびひふみ投信マザーファンドを通じて、国内外の未上場株式および上場株式に投資を行ないます。

■ 投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	65.67%
ひふみクロスオーバーマザーファンド （うち、ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合）	34.12% （3.00%）
現金等	0.21%
合計	100.00%

資産配分比率などの状況

■ 資産配分比率

国内株式（上場）	95.72%
国内株式（未上場）	3.00%
現金等	1.28%
合計	100.00%

■ 市場別比率

プライム市場	78.00%
スタンダード市場	3.73%
グロース市場	13.99%
未上場	3.00%
現金等	1.28%
合計	100.00%

組み入れ上位10銘柄
（2026年7月末時点の組入比率1位～10位）

	銘柄名	銘柄コード	上場市場	業種	組入比率
	銘柄紹介				
1	ANYCOLOR	5032	プライム市場	情報・通信業	5.91%
	2022年上場のIP企業。Vチューバーグループ「にじさんじ」の運営を行なう。個性豊かなタレント同士の交流による創発的なコンテンツ創出が特徴。ユーザーを巻き込みながらの高成長に期待。				
2	HUMAN　MADE	456A	グロース市場	小売業	4.76%
	2010年に誕生したライフスタイルブランドHUMAN MADEを擁する企業。アーティスティックな価値をビジネスに転換し、持続可能な産業にプロデュースすることを目指す。				
3	伊藤忠商事	8001	プライム市場	卸売業	3.89%
	総合商社の中でも頭ひとつ抜けた存在。資本効率への意識は他社と比較してとても高く、毎年のガイダンスへのコミットメントも高い。コングロマリット企業である一方で、川上から川下までサプライチェーンを考慮した事業運営は今後コングロマリットプレミアムを生み出す可能性もある。				
4	技術承継機構	319A	グロース市場	金属製品	3.23%
	事業承継に悩む製造業の中小企業を連続的にM&Aし、バリューアップを行なうことで成長する連続買収企業。旺盛な事業承継ニーズを背景とした成長に期待。				
5	AIメカテック	6227	スタンダード市場	機械	2.95%
	2021年上場。半導体関連装置の販売を行なう。半導体製造の深化のなかで、技術力を発揮。テンポラリーボンダー、デボンダーの拡販を進めつつ、次世代技術でのシェア確立を狙う。				

	銘柄名	銘柄コード	上場市場	業種	組入比率
	銘柄紹介				
6	丸紅	8002	プライム市場	卸売業	2.91%
	大手総合商社のひとつで、1858年に創業された長い歴史を持つグローバル企業。エネルギー、金属、食料、化学品、生活関連、情報通信、インフラなど多岐にわたる分野でグローバルに事業展開。大本社長の下、注力事業のさらなる成長促進と資本効率改善に期待。				
7	みずほフィナンシャルグループ	8411	プライム市場	銀行業	2.90%
	日本の3大金融グループのひとつ。銀行・信託・証券を擁する総合金融グループで、海外事業を強化。また、デジタル化を進めるとともに、自社株買い・増配など株主還元を強化し、ROE向上にも注力している。				
8	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	プライム市場	銀行業	2.48%
	日本3大金融グループの一角。銀行業務を中心に行なう総合金融サービスコングロマリット。かつての東京銀行のネットワークを継承したことにより国際業務に強みがあり、近年はアジアで積極的な買収を通じた事業拡大を行なっている。				
9	川崎重工業	7012	プライム市場	輸送用機器	2.43%
	防衛・民間航空機・造船を中心に構造的な利益成長が継続。資本効率改善に向けた事業再編や改善をやり切れるかが焦点。次世代エネルギーである水素においても業界をリードする立ち位置。				
10	三菱地所	8802	プライム市場	不動産業	2.27%
	丸の内を中心としたオフィスビルの開発・運用に強み。人口減による労働者不足が好立地オフィスへの需要を高める中で、今後より一層の成長に期待。さらに海外事業も順調に拡大しており、株主還元強化を通じた資本効率改善にも期待。				

※「組入比率」は純資産総額に対する実質割合を表示しております。なお、未上場株式は除きます。
※「業種」は東証33業種分類を用いて表示しています。
※過去の実績は将来の運用成果を示唆または保証するものではございません。

ひふみクロスオーバーマザーファンド運用状況

■ 基準価額の推移（日次）

■ ひふみクロスオーバーマザーファンドの状況

純資産総額	170.93億円
組み入れ銘柄数	24銘柄

■ 資産配分比率

国内株式（上場）	89.75%
投資事業有限責任組合	8.78%
現金等	1.47%
合計	100.00%

■ 市場別比率

プライム市場	39.54%
スタンダード市場	9.21%
グロース市場	41.01%
未上場	8.78%
現金等	1.47%
合計	100.00%

■ 組み入れ上位5業種 比率

1	情報・通信業	23.46%
2	小売業	21.78%
3	金属製品	12.97%
4	サービス業	10.11%
5	機械	9.18%

■ 組み入れ上位5銘柄 比率（上場株）

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	ＡＮＹＣＯＬＯＲ	5032	中小型	プライム市場	情報・通信業	17.31%
2	ＨＵＭＡＮ ＭＡＤＥ	456A	中小型	グロース市場	小売業	13.95%
3	技術承継機構	319A	中小型	グロース市場	金属製品	9.46%
4	ＡＩメカテック	6227	中小型	スタンダード市場	機械	8.64%
5	タイミー	215A	中小型	グロース市場	サービス業	6.12%

■ ひふみスタートアップ投資事業有限責任組合の投資銘柄（未上場）

投資開始年月	銘柄名	国	通貨
2026年3月	パトスロゴス	日本	日本円
2025年3月	ベター・プレイス	日本	日本円
2024年12月	IDOM CaaS Technology	日本	日本円
2024年9月	五常・アンド・カンパニー	日本	日本円

期間：2024年9月12日～2026年7月末
※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。各比率は、ひふみクロスオーバーマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。
※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。「組み入れ上位5業種比率」および「組み入れ上位5銘柄比率」は国内株式における上位を表示しています。また、業種は東証33業種分類を用いて表示しています。
※「組み入れ上位5銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。
大型(3,000億円以上)、中小型(300億円以上、3,000億円未満)、超小型(300億円未満)
※過去の実績は将来の運用成果を示唆または保証するものではございません。

未上場企業の銘柄紹介

五常・アンド・カンパニー

Gojo & Company, Inc.

■ 会社概要

五常・アンド・カンパニーは「金融包摂を世界中に届ける」ことをミッションに、途上国において中小零細事業向けの小口金融サービス（マイクロファイナンス）を展開する企業です。

現地でマイクロファイナンス機関（MFI）を設立するのみならず、MFIの買収およびバリューアップも行ないながら、規模を拡大してきました。主要な顧客は農村部で暮らす女性です。彼女らの生活は収入の変動や突発的な支出のリスクに晒されていることが多いため、同社グループのMFIが提供するような低価格の金融サービスは厚生の改善に寄与します。また、現地住民の資金需要は大きいですがMFI単体では信用力の不足から、資金調達の難易度が高く、需要をカバーすることは難しいです。同社はMFIに資本を注入、あるいは与信を活用した資金の貸し付けを行なう等、様々な方法でグループMFIの経営を支援してきました。

ベター・プレイス

better place

■ 会社概要

株式会社ベター・プレイス（以下、ベター・プレイス）は「ビジネスを通じて、子育て世代と子どもたちが希望を持てる社会をつくる。」をミッションに、確定給付型の企業年金制度である「はぐくみ企業年金」の導入・継続支援を行なっている会社です。

企業年金は事業者、従業員双方にとって魅力的な制度ですが、その複雑な導入や運用コストが普及の障壁となっていたため、導入の多くは大企業に限定されていました。同社は戦略的なDX（デジタルトランスフォーメーション）投資*と加入事務業務や導入支援など支援体制の構築により、企業側の導入・運用工数を大幅に削減してきました。年金制度の導入経験がない中小企業でも安心して利用ができるサポート体制を確立したことによって、同社の事業は飛躍的に成長しています。

＊企業がデジタル技術を活用してビジネスモデルや業務プロセスの革新を行なうための投資

※組入銘柄は市場動向により変化します。※今後も当社が当該銘柄に投資することを保証するものではありません。
※当該銘柄への投資を推奨、勧誘するものではありません。

IDOM CaaS Technology（イドムカーステクノロジー）

IDOM CaaS Technology

■ 会社概要

ICT（IDOM CaaS Technology）は「マイ・カーライフを、すべての人に。」というビジョンのもと、独自の与信システムを活用し、多くの方々に中古車流通事業を提供している会社です。

日本の自動車ローンの通過率について調査すると、2022年の成人年齢引き下げや携帯電話の早期保有、実質可処分所得の低下傾向、円安を起点としたインフレなどの要因により、欲しい車があっても従来型のローンを組めない人が増えやすい環境が継続していることがわかります。独自のデータを活用した与信審査を行なうICTのサービスによって、多くの方々が欲しい車に乗れるようになっている姿を目にしました。このような新しい自動車流通の形を実現しているICTの取り組みは、収益性と社会的な意義が両立されたものだと思います。

パトスロゴス

Pathos Logos

■ 会社概要

株式会社パトスロゴスは、「人事の未来を創り、生産性を解放する」をミッションに、大企業向けに人事データ基盤および人事給与SaaSを提供するHRテック企業です。

同社は、人事システムの分断や運用負荷の増大といった構造課題に対し、システム同士を「つなぐ」のではなく「最初からつながっている」人事基盤を提供しています。人事データを一元管理しながら、労務、勤怠管理、採用、タレントマネジメントなど各種HR SaaSの活用を可能にし、大幅な業務効率化を実現します。また、自社の人事給与SaaS「Combosite人事給与」を通じた高度な給与計算機能の提供を通じて、人事業務領域全体をカバーしています。同社が提供する複数のSaaSを組み合わせるシステム構成は、従来の統合型ERPと比べて導入・運用コストを抑えつつ柔軟な機能拡張が可能です。日本の大企業全体の生産性向上に不可欠なソリューションとして、今後さらなる注目が期待されます。

クロスオーバー投資の事例

ひふみクロスオーバーproで未上場企業として投資をしていたイノバセル株式会社（504A）は、2026年2月24日、東京証券取引所グロース市場に新規上場しました。
ひふみクロスオーバーマザーファンドからひふみスタートアップ投資事業有限責任組合を通じて保有していた同社の株式は、ひふみクロスオーバーマザーファンドへ直接組み入れられました。

■ 概要

- 上場日：2026年2月24 日
- 市場区分：東京証券取引所グロース市場
- 初値：1,248円（当ファンドでの取得価格850円）
- 初値時価総額：520.9億円
- 業種分類：医薬品

■ 資金使途内容

項目	金額	主な目的
① 研究開発資金	69億32百万円	臨床試験の推進、CPC（細胞培養加工施設）運営など
② ローン返済資金	30億円	欧州投資銀行（EIB）借入金の前倒し返済
③ 運転資金等	16億65百万円	人件費、商業化準備、設備投資など

■ 事業内容

2000年にオーストリアのインスブルック医科大学からスピンアウトして設立された細胞治療製剤の開発会社です。世界各国から有望な細胞治療シーズを発掘し、商業化を進めています。現在は便失禁・尿失禁といった失禁領域において、ヒトの細胞を用いた細胞治療製剤（再生医療等製品）の研究開発・商業化に注力中です。第Ⅲ相国際共同治験が進行中のICEF15を含む複数の治療候補の臨床開発を進め、患者さんのQOL向上を目指しています。

■ 運用責任者からのコメント

有価証券届出書によると我々の投資後も、米国における第Ⅲ相国際共同治験の実施準備が進んでおり、事業のマイルストーンを着実に進められています。IPOによる調達資金は100億円を超え、その大部分がさらなる研究開発に投じられる計画になっております。全世界の人々に希望を届けるイノバセルのグローバルな挑戦を、今後も応援してまいります。

松本 凌佳

※2026年2月24日時点の情報です。
※個別銘柄を推奨するものではありません。当ファンドの組入等を必ずしも約束するものではありません。
※概要、資金使途内容はイノバセル株式会社有価証券届出書より。

投資対象ファンド　ひふみクロスオーバーマザーファンド　組み入れ上場企業の銘柄紹介

HUMAN　MADE（456A）

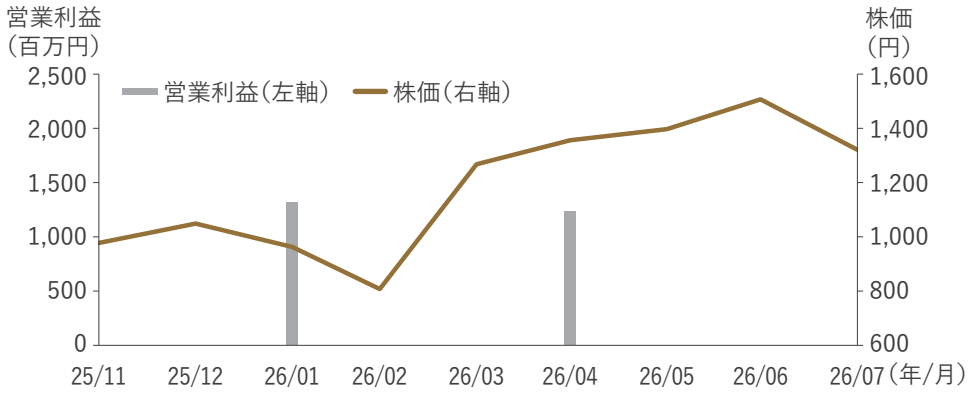
■ 会社概要

2010年に誕生したライフスタイルブランドHUMAN MADEを擁する企業。アーティスティックな価値をビジネスに転換し、持続可能な産業にプロデュースすることを目指す。

■ 投資の視点

同社は、著名クリエイタープロデュースの一貫した世界観と、細部まで作り込まれた商品企画を強みに、アパレルブランドとして幅広い支持を獲得しています。また、経営陣には大手企業での事業推進経験を持つ人材を擁しており、事業展開における再現性を担保しています。同社の卓越したブランド力と経営力はこれまでの高成長と突出した営業利益率に表れています。今後はブランド価値の維持・向上に加え、上海やニューヨーク等での直営展開を通じた潜在需要の取り込みを推進します。

■ 株価と営業利益の推移



インターメスティック（262A）

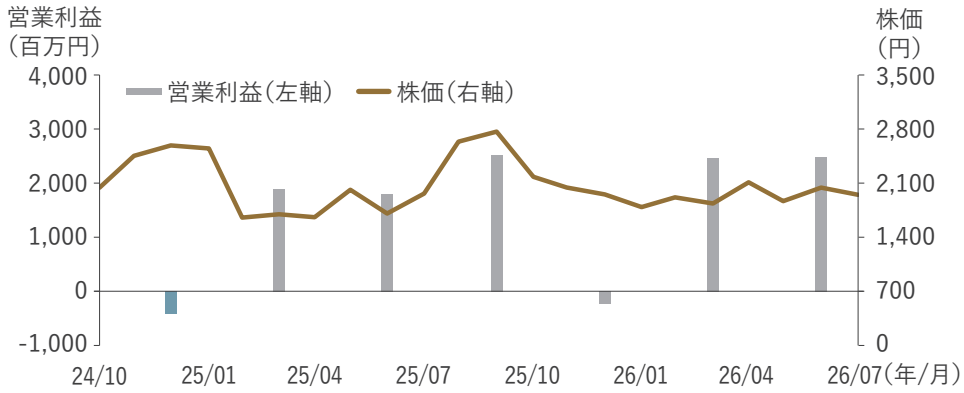
■ 会社概要

国内有数のメガネブランド「Zoff」を展開。国内外約320店舗を運営。ファッションアイテムとしてのメガネの普及に尽力。さまざまなIP（知的財産）とコラボレーションした商品、サングラスの展開を強化中。

■ 投資の視点

東証プライム市場に直接上場する規模感を持ちながら、過去数年にわたって前年比10%を超える売上成長を継続してきた企業です。成長戦略の一つであるサングラス市場の創造に注目しています。紫外線から目を守るためのみならず、ファッションアイテムとしての側面からもサングラスは急速に普及しています。同社は様々な人気IPとのコラボレーションを通じてファッションアイテムとしてのメガネ・サングラスを消費者にとって身近なものにしています。

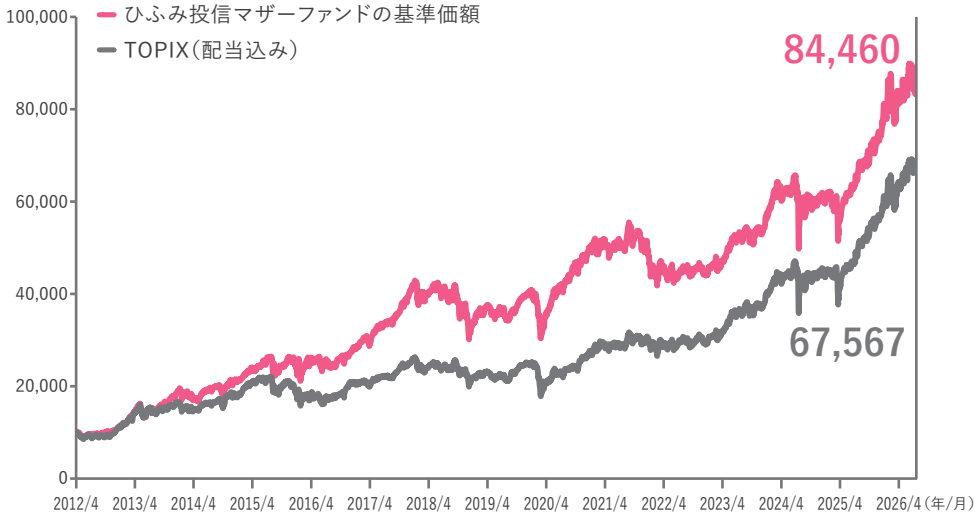
■ 株価と営業利益の推移



※Bloomberg 掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。
※株価は上場来～2026年7月末。株価は月次終値。営業利益は四半期ごとの値を各四半期末に表示。
※組入銘柄は市場動向により変化します。※今後も当社が当該銘柄に投資することを保証するものではありません。
※当該銘柄への投資を推奨、勧誘するものではありません。※コメントについては作成日時点の情報になります。※写真はイメージです。

投資対象ファンド　ひふみ投信マザーファンドの運用状況について

■ ひふみ投信マザーファンドの基準価額とTOPIX（配当込み）の推移（2026年7月末基準）



※期間：2012年4月20日～2026年7月末
※出所：Bloomberg掲載情報を基にレオス・キャピタルワークス作成。
※ひふみ投信マザーファンドの設定日前営業日（2012年4月19日）を10,000として指数化して作成。
※上記はひふみ投信マザーファンドの運用実績であり、当ファンドの運用実績ではありません。
※TOPIX（配当込み）はひふみ投信マザーファンドのベンチマークではありませんが、参考として記載しています。
※TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
※上記グラフは税金・手数料などは考慮していません。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

■ ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	11,151.63億円
組み入れ銘柄数	71銘柄

■ 組み入れ上位10業種 比率

1	電気機器	15.84%
2	卸売業	13.67%
3	銀行業	11.26%
4	機械	9.95%
5	情報・通信業	8.45%
6	輸送用機器	8.09%
7	保険業	5.44%
8	建設業	4.31%
9	不動産業	3.46%
10	非鉄金属	2.77%

■ 資産配分比率

国内株式	99.13%
現金等	0.87%
合計	100.00%

■ 市場別比率

プライム市場	98.23%
スタンダード市場	0.90%
グロース市場	-
現金等	0.87%
合計	100.00%

■ 組み入れ上位5銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	伊藤忠商事	8001	大型	プライム市場	卸売業	5.93%
2	丸紅	8002	大型	プライム市場	卸売業	4.43%
3	みずほフィナンシャルグループ	8411	大型	プライム市場	銀行業	4.42%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	大型	プライム市場	銀行業	3.77%
5	川崎重工業	7012	大型	プライム市場	輸送用機器	3.70%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。
※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。
※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。「資産配分比率」の株式 には新株予約権を含む場合があります。
※「組み入れ上位10業種 比率」は国内株式における上位業種を表示しています。「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位5銘柄 比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。
※「組み入れ上位5銘柄 比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。大型(3,000億円以上)、中小型(300億円以上、3,000億円未満)、超小型(300億円未満)

レオス・キャピタルワークス会社概要

RHEOS CAPITAL WORKS

経営理念

『資本市場を通じて社会に貢献します』

投資を通じてゆたかさの循環を生み出すとともに、ファイナンシャル・インクルージョンを通じて、金融サービスの恩恵を全ての人々が享受できる世の中を目指します。

社名・ロゴについて

「レオス」とは古代ギリシャ語で「流れ」という意味の言葉です。日本にある人財・資本・知恵・技術などたくさんの資産「キャピタル」の「流れ」をつくる工房「ワークス」でありたいという想いが込められています。私たちは見えない価値を見つめるという想い、流れを作り出すという志をロゴにこめました。ロゴは点字の「レオス」をデザインしたものです。目には見えないもの、触れてみないと分からないもの、そこに企業の大きな価値や未来が潜んでいると考えます。この目に見えない価値を結びつけ、新しい大きな流れを作り出したいという想いを表しています。

社　　名	レオス・キャピタルワークス株式会社 Rheos Capital Works Inc.
設　　立	2003年4月16日
本社所在地	東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス(PCP)丸の内27F
資　本　金	3億22百万円（2026年7月末現在）
事業内容	投資運用業 投資助言・代理業 第二種金融商品取引業
役職員数	131名（2026年7月末現在）
運用資産	1兆7,340億58百万円（2026年7月末現在）

ご参考：SBIインベストメントのご紹介と主な投資実績

国内最大*の運用資産を持つベンチャーキャピタル

■ SBIインベストメントは、「新産業クリエーター」として21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディング・カンパニーになるという経営理念の下、ベンチャーキャピタルファンドの運用・管理を行なう、国内屈指のベンチャーキャピタルです。

＊出所：Preqin-JVCA国内VCベンチマーク調査（2023年5月実施）掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

社名　SBIインベストメント株式会社

設立　1996年6月7日

資本金　5,000万円

投資先社数
1,241社

EXIT社数*
209社

＊株式売却（M&A）やIPOによって投資資本を回収、利益を得た社数

2024年3月31日時点

新規上場（IPO）投資実績

2021年	2022年	2023年
11社	17社	9社

■ 主な投資実績

企業名	銘柄コード	上場市場	上場日	業務内容
（株）ispace	9348	東証グロース	2023年4月12日	自社にて開発中のランダーおよびローバーを用いて、①物資輸送サービス、②プロモーションサービス（パートナーシップ）③情報サービス等を提供
ANYCOLOR（株）	5032	東証グロース	2022年6月8日	Vtuberの募集、作成、企画、プロデュース
ビジョナル（株）	4194	東証マザーズ	2021年4月22日	プロフェッショナル人材に特化した会員制転職プラットフォーム「ビズリーチ」などの運営
ウェルスナビ（株）	7342	東証マザーズ	2020年12月22日	リスク管理アルゴリズムに基づく資産運用を行なうロボアドバイザー「WealthNavi」の提供
（株）ココペリ	4167	東証マザーズ	2020年12月18日	SaaS型の中小企業向け経営支援プラットフォーム「BigAdvance」および、AIモジュール「FAI」の開発・提供
（株）グッドパッチ	7351	東証マザーズ	2020年6月30日	Web・スマートフォンサービス等のUI/UXデザイン支援サービスの提供
AI inside（株）	4488	東証マザーズ	2019年12月25日	AI基盤手書きOCRソフトウェアおよびOCRでデジタル化された文書データの処理に携わるソフトウェアの提供
フリー（株）	4478	東証マザーズ	2019年12月17日	クラウド型会計ソフト「freee」の提供
BASE（株）	4477	東証マザーズ	2019年10月25日	Eコマースプラットフォーム「BASE」の運営、およびWebサービスやネットショップにクレジットカード決済を簡単に導入できるオンライン決済サービス「PAY.JP」の展開
（株）レノバ	9519	マザーズ	2017年2月23日	再生可能エネルギー発電所の新規開発・運営管理

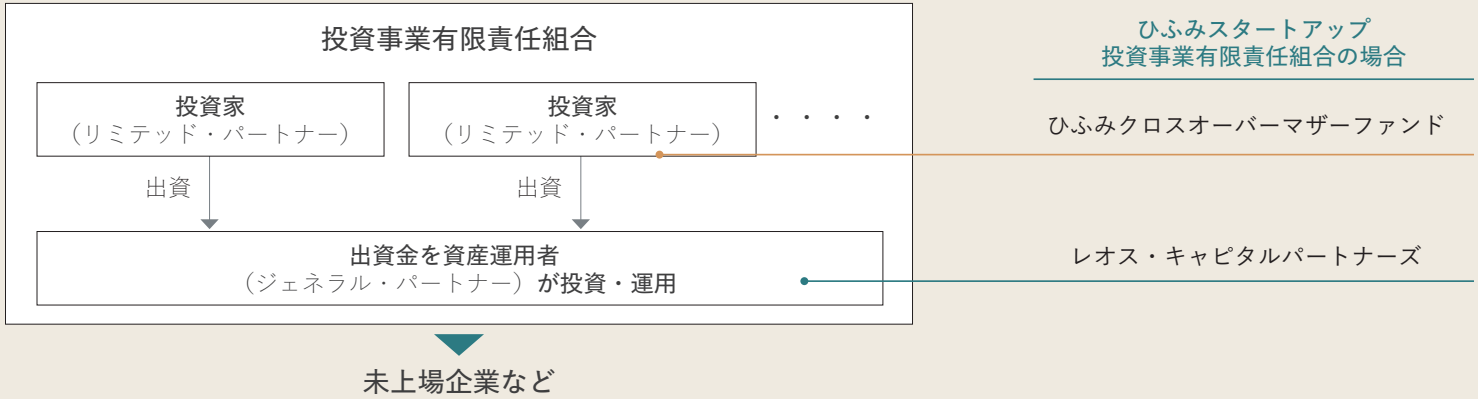
出所：SBIインベストメントの情報を基にレオス・キャピタルワークス作成。

未上場株式に関するよくあるご質問

～投資事業有限責任組合（LPS）とは何ですか～

未上場企業が発行する有価証券への投資を目的とした「組合」です。

投資事業有限責任組合（LPS）は、業務を執行する資産運用者（ジェネラル・パートナー）と投資家(リミテッド・パートナー)が出資を行ない、その出資金を基にして共同で投資を営む組合です。



～未上場株式の価格はどのタイミングで評価しているのですか～

四半期に一度、公正価値*評価に基づき未上場株式の時価評価を行ないます。

未上場株式は証券取引所に上場していないため、取引所における日々の価格形成がされることはありません。
当ファンドでは、四半期に一度、公正価値*評価に基づき未上場株式の時価評価を行ないます。さらに、四半期評価の間に各銘柄においてイベントアクション（資金調達、M&Aに関する合意、銀行取引停止等）が生じた場合、時価評価を随時行ない、基準価額へ反映させます。また、評価に関しては、四半期に一度、外部機関からの監査をうけます。

＊公正価値とは測定日時点で、市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却するために受け取るであろう価格または負債を移転するために支払うであろう価格。

投資リスクについて

基準価額の変動要因

・「ひふみクロスオーバーpro」は、マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。

・投資信託は預貯金と異なります。

主な投資リスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因（投資リスク）は上記に限定されるものではありません。

未上場株式等への投資に関する主なリスク

当ファンドは、投資事業有限責任組合を通じて実質的に未上場株式等に投資を行なうため、他の金融商品を組み入れた投資信託と比較して、加えて、主に以下のリスクがあります。これらのリスクにより、基準価額が大きく下落し、損失を被るリスクがあります。

・ 当ファンドが実質的に投資する未上場株式等は、各銘柄の価格が各企業の個別要因やイベント（デフォルト、上場、M&A等）によって大きく変動し、上場企業の株式とは値動きの方向性や変動率が大きく異なる場合があるため、評価額が大きく変動し、その影響を受け損失を被るリスクがあります。

・ 当ファンドが実質的に投資する未上場株式等は流動性が著しく乏しいため、売却時に不利な価格での取引をせざるを得なくなるなど、流動性リスクおよび各種リスクの影響が大きくなる可能性があります。

・ 未上場株式等の評価額については、その時点で入手できる情報に基づいた公正価値の見積りであり、日々の投資信託の基準価額算出においては、影響を受ける可能性のある重要な事象を完全かつ正確に反映することが困難となります。

※未上場株式等への投資に関するリスクは上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

・「ひふみクロスオーバーpro」のお取引において、金融商品取引法第37条の6に規定された「書面による契約の解除」（クーリング・オフ）の適用はありません。

・ ファンドの流動性リスクに関する事項：一時に多額の解約があり資金を手当てするために保有資産を大量に売却しなければならない場合や、取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額が低下し損失を被る可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

・ 投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、「 ひふみクロスオーバーpro」の基準価額に影響を及ぼす場合があります。

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。

■当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。

■当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お申込みメモ

信託期間	無期限(2024年9月12日設定) ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。
決算日	毎年7月25日(休業日の場合には、翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算時に、原則として、次の方針に基づき分配を行ないます。分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合には、収益分配金は税引き後に無手数料で再投資されます。なお、お取り扱い可能なコースおよびコース名については販売会社によって異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当り)
購入・換金単位	販売会社が定める単位となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当り)
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
換金制限	「ひふみクロスオーバーpro」の残高、市場の流動性の状況等によっては、運用上の支障をきたさないようにするため、委託会社の判断により大口の換金の金額に制限を設ける場合や換金のご請求の受付時間に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情(流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等)がある場合には、委託会社は購入、換金の申込みの受付けを中止すること、およびすでに受付けた購入、換金の申込みの受付けを取消すことがあります。
繰上償還	信託契約の一部解約により受益権の口数が30億口を下回った場合またはこの信託契約を解約することがお客様(受益者)のために有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、この信託契約を解約し、信託を終了させる場合があります。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。「ひふみクロスオーバーpro」は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※上記は、2026年7月末現在のものです。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所またはナスダック証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、原則として毎営業日の午後3時30分までに受け付けたものを当日のお申込みとします。 ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用
お客様に直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	申込金額に対する手数料率は3.30%(税抜3.00%)を上限として、販売会社が定める料率とします。 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価として販売会社にお支払いいただきます。「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。なお、お取り扱い可能なコースおよびコース名については販売会社によって異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

お客様に信託財産から間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して年率1.650%(税抜年率1.500%)を乗じて得た額。 日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき「ひふみクロスオーバーpro」の信託財産から支払われます。 ■ 運用管理費用の配分

支払先	配分	役務の内容
委託会社	年率0.825% (税抜年率0.750%)	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
販売会社	年率0.770% (税抜年率0.700%)	運用報告書等各種書類の提供等、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	年率0.055% (税抜年率0.050%)	運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行の対価

その他費用・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税等)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用(監査費用)およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。 監査費用は日々計算されて毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。 これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

MEMO

RHEOS CAPITAL WORKS